



資料代 1人1,000円
※参加の事前申し込みは要りません

血液がん より良い治療とより良い治癒

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群など、治療期間が長い血液がん。また、理解が難しいその治療法。繰り返し血液がんの基本について学び、自分とは違う血液がんの病状や治療法の概略も理解することは、自分の病気を深く知る上で、より良い治療選択をする上でとても大切です。

また、寄せられた質問へのアドバイスを共に聴いて、日頃の疑問や不安を解消し、闘病生活のヒントをたくさんつかんでください。ご自身も質問をお持ちでしたら、どんなに個人的な問題でも遠慮せず質問用紙を出して「解決の1日」としてください。

日時：2011年5月21日(土) 13時～17時

会場：新潟県民会館小ホール

共催：NPO法人骨髄バンクサポート新潟、NPO法人日本臨床研究支援ユニット(JCRSU)、JCRSU・がん電話情報センター、NPO法人白血病研究基金を育てる会、ハートリンク共済

座長 新潟県立がんセンター新潟病院内科 張高明 先生

総合司会 NPO法人血液情報広場・つばさ 橋本明子

I. 全体会の1 13:00～14:40

① 血液と血液がん

血液がんの基本概念と血液がん治療の現状

群馬大学医学部保健学科 村上 博和 先生

血液細胞の働き、血液がんはそれぞれ造血のどの過程でがん化するのか、など、造血と疾患の基本学習を通して「同じ血液がんにも、様々な病気がある」ことを知ることで自身の疾患の理解を深めます。また、標準治療の「標準」やとても気になる言葉「治験」などの意味を把握します。

② 血液がんの治療

1) 薬物療法の基本理解

新潟県立がんセンター新潟病院内科 石黒 卓朗 先生

血液がんでも疾患によっては診断直後に抗がん剤治療 (total cell kill) が必須となります。必要な化学療法の効果、長く残りがちな副作用や緩和策など、化学療法の基本を学びます。

2) 分子標的薬の基本理解

岩手医科大学血液・腫瘍内科 石田 陽治 先生

分子標的療法は血液がん治療の到達点でしょうか? どのような仕組みで効くのか、これによってどこまで治ったといえるのか、現状と今後の展望について。

3) 移植療法の基本理解

虎の門病院血液内科 山本 久史 先生

近年は移植年齢が徐々に高齢化していることもあり、薬で寛解を維持していても時に移植が治療選択に加わる可能性もあります。同種移植(きょうだい等血縁ドナー、骨髄バンクやさい帯血バンクからの非血縁ドナー)で移植療法を理解し、またフル移植とミニ移植の違いを把握し、「移植適応」のタイミングについて考えます。

II. 疾患別Q&A分科会 14:50～15:30

各分科会同時進行

各疾患の特徴と治療法の特性についてのご説明、疾患特有の問題について質疑応答で、分科会参加者全員と講師とで共有し、考えます。

① 急性白血病 新潟県立がんセンター新潟病院内科 今井 洋介 先生
司会 佐藤 恒 さん

② 慢性白血病 岩手医科大学血液・腫瘍内科 村井 一範 先生
司会 田村 英人 さん

③ 骨髄異形成症候群 虎の門病院血液内科 石綿 一哉 先生
司会 山口 鋭一郎 さん

④ 悪性リンパ腫 新潟県立がんセンター新潟病院内科 廣瀬 貴之 先生
司会 松原 良昌 さん

⑤ 多発性骨髄腫 群馬大学医学部保健学科 村上 博和 先生
司会 山本 真理子 さん

III. 全体会の2 15:40～17:00

① 暮らしと血液がん治療の副作用

座長 新潟県立がんセンター新潟病院 堀 富士子 看護師長

1) 血液病棟のナースから：清潔ケアについて

新潟県立がんセンター新潟病院 西村 香 副看護師長

免疫力が大きく落ち込む時期があるのが血液の治療の特徴です。感染症などの重篤な合併症をより少なくして、快適な闘病生活をおくるために、手洗い・口腔ケアなどの予防や清潔のたいせつさを繰り返し認識しましょう。

2) 外来化学療法室のナースから：外来化学療法の実際と看護

新潟県立がんセンター新潟病院外来化学療法室 磯貝 佐知子 さん

外来化学療法室で行なわれている化学療法の実際と治療中(自宅の問題が起きた場合も含めて)のトラブル対処法やこころの持ち方、また外来で看護師さん達にどう相談したらよいか、アドバイスをお聴きします。

3) 治療初期から密接に関与する緩和治療

新潟県立がんセンター新潟病院緩和ケア科 齊藤 義之 先生

より良いがん治療とより良い闘病生活のために、緩和治療とところについて考えましょう。～がん治療による身体的副作用、精神的副作用などを乗り切るために、なすべきことは何か。

② 共に考えるより良い治療とより良い治癒 講師全員による会場全体とのQ&A

血液がん共通の質問を司会者が読み上げ、複数の講師からのアドバイスを聴き、各自の参考として共有します。

賛助企業 ブリストル・マイヤーズ株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、協和発酵キリン株式会社、ヤンセンファーマ株式会社、セルジーン株式会社、日本新薬株式会社、株式会社ヤクルト本社、バイエル薬品株式会社、富士フィルムRIファーマ株式会社

※協和発酵キリン株式会社、株式会社ヤクルト本社より、飲料の提供があります。

血液がんの治療、闘病生活などについての疑問・質問・ご相談の受付 詳細は裏面に

一般問い合わせ/NPO法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503 (月～金 12時～17時)

後援：新潟県 新潟市

会場案内図／新潟県民会館小ホール

住所：新潟県新潟市中央区一番堀通町 3-13

TEL：025-228-4481



つばさフォーラムでの質問（相談）

※フォーラムへの参加申し込みは不要です

- A4 以下の紙 1 枚に書いて順次送って下さい（送付開始はいつからでも。締め切りは新潟フォーラムでは5月19日必着まで。過ぎた場合は他の会場のQ & Aで応答されます）。
- 個人的な質問でも、一般的な質問でも、どちらでも。内容によって「個別相談の方が良い」と判断した場合は、会場においで講師のどなたかに対応していただきます。
※講師のご指名はできませんので予めご了承ください。

FAX 送付 03-3203-2570

郵便送付 162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町533

早稲田大学前郵便局々留

NPO 法人血液情報広場・つばさ

- ①病名
- ②患者さんの性別と年齢
- ③ご質問（具体的に。ただし漏洩が起きないように努めますが、病院名と医師名は書かないでください。電話でお尋ねする場合はありますのでご了承ください）
- ④ご相談者さんのお名前（会場に見える方。患者さんとの関係）
（他に漏らしません。質問内容を確認するためです）
- ⑤ご連絡先電話番号（必須。質問内容を確認させていただくためです）
- ⑥フォーラム参加予定会場（例 新潟 大阪 など）

※上記質問は、全体会・講演、疾患別Q & A、全体会Q & A、場合によっては個別相談などで対応されます。みなさんと一緒に先生方のアドバイスを聴き、より良い治療選択にいかしましょう。

※こんな個人的なこと、などと思わず質問を送って下さい。案外たくさんの方が共通の疑問や不安を持っているものです。

※病気の理解、いつ移植を選択するか、再発したのだが再寛解導入の可能性、など。ほかに治療についてだけでなく、退院後の生活、家族の問題（夫婦生活は可能？ 気持ちを理解されない等）、治療後いつから赤ちゃんを授かれる？セカンドオピニオンの切り出し時、就職活動、学校での生活、結婚を前に不安…、なんでもこの際、どうぞ。

お問い合わせ

NPO 法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503（月～金 12時～17時）

つばさフォーラムにご協力いただき、本当にありがとうございます。

- ・ NPO 法人骨髄バンクサポート新潟 <http://kbsniigata.com/>
- ・ NPO 法人日本臨床研究支援ユニット(JCRSU) <http://www.crsu.org/>
- ・ NPO 法人白血病研究基金を育てる会 <http://www.flrf.gr.jp/>
- ・ ハートリンク共済 <http://hartlink.net/>
- ・ 慢性骨髄性白血病(CML)患者・家族の会「いずみの会」 <http://members.jcom.home.ne.jp/firstsight/izumi/>
- ・ 日本骨髄腫患者の会 <http://www.myeloma.gr.jp/>
- ・ 骨髄異形成症候群 MDS 連絡会 <http://www.geocities.jp/mdsrenraku/>
- ・ NPO 法人ライフボート <http://www.lifeboat-jp.net/>
- ・ 院内患者会世話人連絡協議会 <http://www.medicina-nova.com/kaisaiyotei.htm>